

KYOEI STEEL

第81期
株主通信

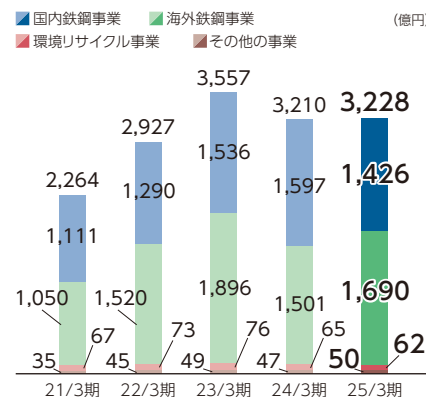
2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日



売上高

3,228 億円

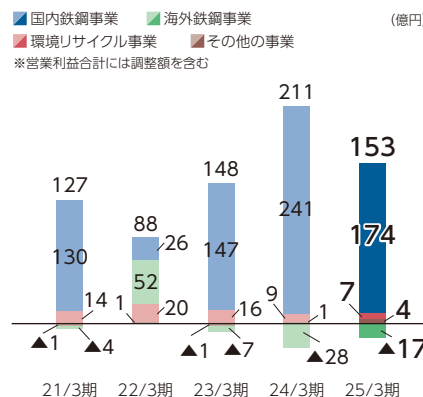
前期対比 0.6% 増 ↑



営業利益

153 億円

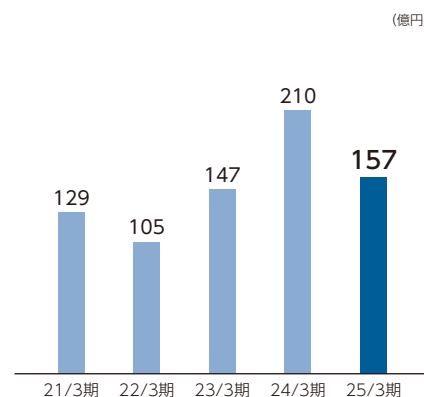
前期対比 27.2% 減 ↓



経常利益

157 億円

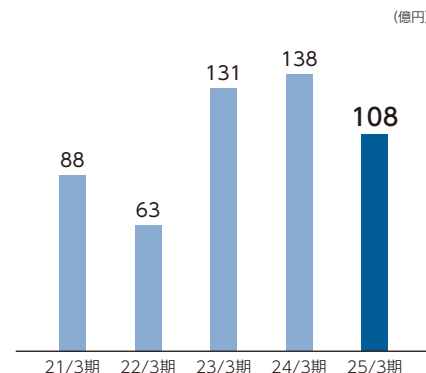
前期対比 25.1% 減 ↓



親会社株主に帰属する
当期純利益

108 億円

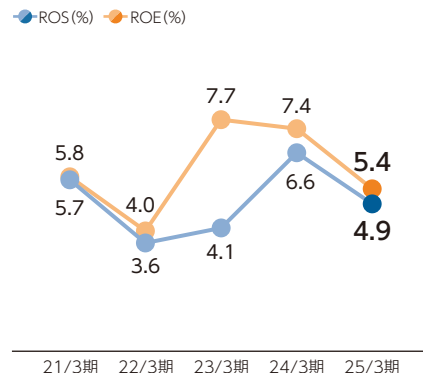
前期対比 22.0% 減 ↓



売上高経常利益率 (ROS)
株主資本利益率 (ROE)

ROS 前期対比 1.7Pt 減 ↓

ROE 前期対比 2.0Pt 減 ↓

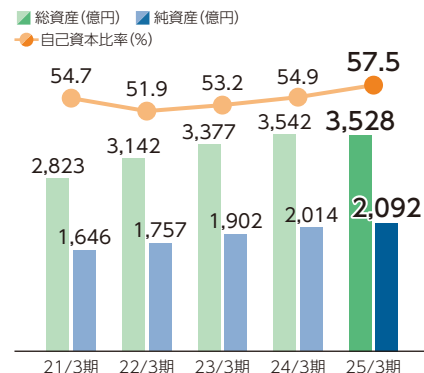


総資産／純資産／自己資本比率

総資産 前期対比 0.4% 減 ↓

純資産 前期対比 3.8% 増 ↑

自己資本比率 前期対比 2.6Pt 増 ↑



※1 21/3期において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っています。
※2 22/3期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました坂本尚吾でございます。私は入社以来、国内鉄鋼事業の営業に携わり、2020年以降は、山口事業所長、取締役副社長執行役員として、経営に参画してまいりました。

当社を取り巻く事業環境が大きく変化する中、これまで「世界3極体制」の下で進めてきました国内外の鉄鋼事業や鉄鋼周辺事業、そして環境リサイクル事業を柱に、当社グループのさらなる成長を目指してまいります。ブランド戦略も駆使し、現場感覚を大切にしながら社員と力を合わせ、「ONE KYOEI」で、2026年度の中期経営計画の最終目標の達成、ひいては当社グループの企業価値向上を目指して、全力を尽くす所存です。

前任の廣富靖以同様、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
さかもと しょうご
坂本 尚吾

プロフィール | PROFILE

- 1958年11月26日生まれ
- 1981年 3月 近畿大学理工学部金属工学科卒業
- 1999年 4月 当社入社
- 2017年 6月 当社取締役・執行役員 山口事業所副事業所長 兼 営業部長に就任
- 2019年 6月 当社取締役・常務執行役員 本社営業企画部担当 兼 営業企画部長に就任
- 2020年 6月 当社取締役・常務執行役員 山口事業所長に就任
- 2023年 6月 当社取締役・副社長執行役員 社長補佐・本社経営企画部担当に就任
- 2025年 6月 当社代表取締役社長に就任

第81期(2025年3月期)の業績について

**前期対比増収減益も
国内は健闘、海外は赤字幅を大きく縮小**

国内鉄鋼事業では、人手不足などの影響で建設用鋼材需要が低調な中、製品価格の維持・引き上げに努め、前期対比減益ながら一定水準の利益を確保しました。

海外鉄鋼事業は前期に続き赤字となりましたが、前期対比では11億円改善しました。ベトナムの競合環境は引き続き厳しいものの、政府の需要喚起策などによって下期からは製品出荷量が回復し、ベトナム事業の赤字が大幅に縮小しました。北米では、米国拠点が設備老朽化の影響で十分な生産ができず赤字を計上した一方、カナダ拠点は、新たに生産を開始した利益率の高い細物鉄筋の拡販もあり、好業績を上げました。

環境リサイクル事業は、医療廃棄物処理における価格競争が激化した上、処理設備の不調などもあり、前期対比減収減益となりました。

国内・海外ともに想定以上に厳しい事業環境の中、年度途中で業績予想の下方修正を余儀なくされましたが、修正予想の目標は概ね達成することができました。

第82期(2026年3月期)の見通しについて

**国内は当期並み、海外はベトナム・米国の
収益改善で黒字化を目指す**

2026年3月期の国内鉄鋼事業の事業環境は厳しいものと予想されますが、デリバリー体制やグループ会社との連携を強化し、製品出荷量増を図ります。エネルギー費や物流費等のコスト増も見込まれますが、業績は当期と同水準を維持する見通しです。

海外鉄鋼事業については、ベトナムの競合環境は引き続き厳しいですが、需要環境は最悪期を脱したと考えられ、ベトナム事業は黒字化を見込んでいます。北米は、米国拠点における操業上の課題は改善に向かっており、また、カナダ拠点も堅調な業績が見込まれることから、海外鉄鋼事業は黒字となる見通しです。

以上により、次期は、連結売上高3,400億円、連結営業利益190億円、連結経常利益180億円、親会社株主に帰属する当期純利益120億円を見込んでいます。

なお、米国の関税政策の影響は見通しづらいですが、電炉事業は基本的に地産地消のビジネスであるため、直接的な影響は限定的であると考えています。

成長に向けた取り組みについて

**海外の生産能力増強とブランド戦略の推進で
企業価値向上へ**

中期経営計画「NeXuII 2026」の2年目となる2026年3月期は、成長のための布石として、大きく3つの取り組みに注力します。1つ目は、ベトナム北部拠点のベトナム・イタリー・スチール社で今年6月に稼働を開始した、新圧延工場の立ち上げです。日本とベトナムの技術者が力を合わせ、競争力のある製鋼・圧延一貫工場として、新たなスタートを切ることになります。フル稼働は2026年度となる見込みです。

2つ目は、北米での成長投資です。米国拠点の課題であった老朽化対策として、製鋼工場の新設・圧延ラインの大規模改造を、約380億円を投じて実施します。抜本的なコスト削減による増益効果を狙い、技術陣の総力を挙げて取り組みます。完成は2027年初頭の予定です。

3つ目は、「エシカルスチール」を軸にしたブランド戦略です。資源循環型社会の実現に事業を通じて貢献する、という当社の思いと決意をブランド化したエシカルスチールの価値を、多方面に発信していきます。



これらを軸に、中期経営計画の施策を着実に実行し、最終年度目標の達成を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

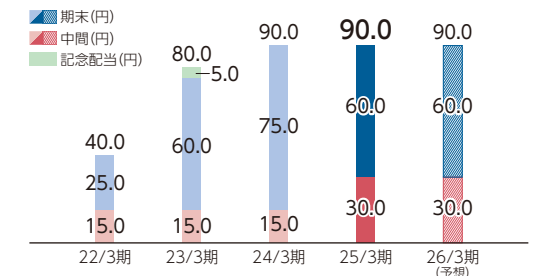
中期経営計画「NeXuII 2026」の進捗状況

	2024年度		2025年度	2026年度
	予想 ※10月31日修正	実績	予想	中期経営計画
売上高	3,230億円	3,228億円	3,400億円	3,800億円
経常利益	150億円	157億円	180億円	250億円
ROE	—	5.4%	5.8%	8.0%以上
配当性向	32.6%	36.2%	32.6%	30~35%

当期の配当および次期の配当予想について

当期の配当につきましては、当期の業績を踏まえて期末配当を60円とし、既の実施した中間配当30円と合わせて90円といたしました。

次期の配当につきましては、中間配当30円、期末配当60円の年間90円を予想しています。



エシカルスチールをご紹介

世界の人口が80億人を超えた今、環境負荷の低減や製品の循環利用を目指す「サーキュラーエコノミー」の実現が、ますます重要になっています。こうした時代の要請を受け、当社では電気炉を用いて医療・産業廃棄物を無害化溶融処理しながら鋼材を製造する事業に35年以上前から取り組んできました。これらの製品をエシカルスチールと名付け、その認知拡大と理解促進を図るため、イメージキャラクターとして「ウルトラマン」の起用を決定。本特集では、その取り組みをご紹介します。



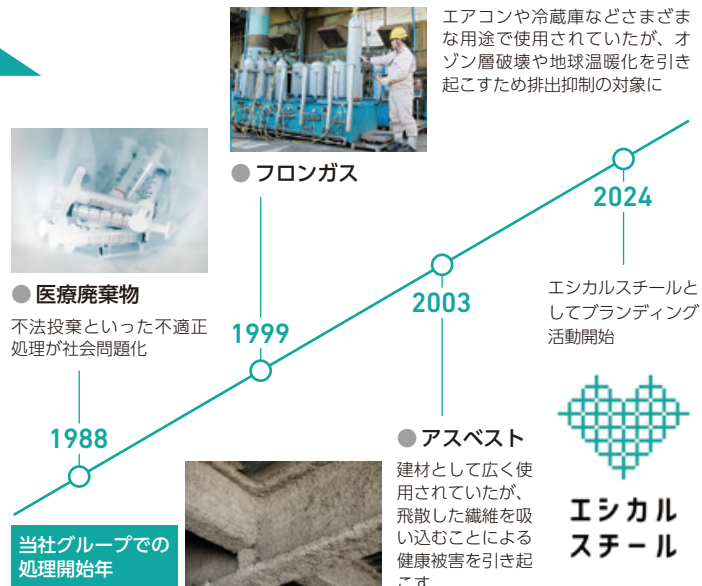
エシカル
スチール

エシカルスチールとは？

電気炉で医療・産業廃棄物などを無害化溶融処理しながら製造した鋼材について、生産から出荷までトレーサビリティを確保した製品です。見かけも性能も通常の製品と同じですが、社会課題を解決しながらつくられています。

社会の“難題”に答えつづけた歴史

1980年代、国内では医療廃棄物の不法投棄が社会問題となっていました。「操業時に数千度に達する電気炉で溶かしてしまえば、解決できるのではないか」——そんな一人の従業員のアイデアから、1988年にこの事業が始まりました。当社の取り組みが注目され、取引先から次々と新たな相談が寄せられるようになります。それは、時代ごとに社会課題となるフロンガス、アスベスト、廃リチウムイオン電池といった、処理の難しい廃棄物でした。以来、私たちは鉄鋼事業に医療・産業廃棄物処理という社会課題を取り込み、挑戦を続けてきました。エシカルスチールには、そんな私たちの歴史と志が込められています。



✦ エシカルスチールができるまで



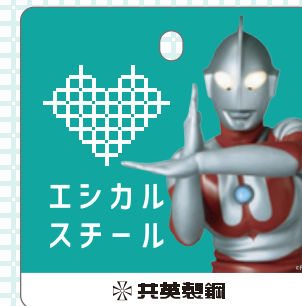
フロンガスの電気炉による無害化処理とは？

操業中の電気炉がフロンガスを破壊できる温度に達したタイミングで、回収したフロンガスを、自動制御により炉内に吹き込みます。2023年度には、国内4つの事業所でこの処理を行い、処理量は約360トンに達しました。これはCO₂換算すると約28万世帯分（大阪市の20%）に相当します。



「ウルトラマン」起用の背景

「ウルトラマン」のように、遠い星からやって来て、この星の平和のためにたたかうヒーローがいます。時代とともに現れる難処理廃棄物の処理に取り組み、社会課題の解決に貢献してきた当社もまた、地道に地球の未来を守り続けてきたもう一人の“ヒーロー”です。今回の「ウルトラマン」の起用には、当社のエシカルスチールをより多くの方々に知っていただきたいという願いが込められています。



特設サイトは
こちら

エシカルスチールに
付けられる特別仕様のタグ

©円谷プロ

米国拠点にテキサス州知事が来訪

2025年2月、米国拠点ピントン・スチール社にテキサス州知事のアボット氏が来訪しました。当拠点は製鋼工場の新設と圧延工場の大幅改造を行う大規模設備投資を予定しています。知事は、当社の多額の投資に対して感謝の意を示すとともに、州として当社の投資を支援することを表明し、公的助成の決定を発表しました。本訪問は、地域社会の発展への貢献を目指す当社にとって、非常に大きな意義を持つものとなりました。

なお、新工場はイタリアのテキント・グループによるCO₂排出量を最小限に抑える“Green City Mill Flex”の第1号案件として、2025年夏から工事が始まります。



▲製品倉庫内の特設会場にてスピーチするアボット知事



ベトナム南部拠点が創立30周年式典を開催

ベトナム南部拠点ピナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）が2025年1月に創立30周年を迎え、現地にて記念式典が行われました。当拠点は、「日本の戦後復興と同様、戦後荒廃したベトナムの復興の力になりたい」という当時の社長の強い意志のもと、ベトナム初の日系鉄鋼メーカーとして設立されました。式典には約150名の関係者が出席し、会社の歩みを振り返り、感謝の意を伝える場となりました。



▲永年勤続表彰を受けた現地の従業員とVKS社歴代社長ら当社経営陣

個人投資家向けオンラインIRセミナーを実施

2025年3月に個人投資家向けオンラインIRセミナー（主催：三菱UFJ eスマート証券）を行いました。電炉業界や当社グループ独自の強み、中期経営計画「NeXu II 2026」における経営戦略などを説明しました。こちらの当社HP「投資家情報」から録画、説明会資料をご覧ください。

こちらから
ご覧いただけます



https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/library/individual_ir.html

(株)共英メソナが大阪・関西万博の運営参加サプライヤーとして協賛

(株)共英メソナは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に運営参加のサプライヤーとして協賛し、医療廃棄物専用の金属缶および段ボール容器を提供するとともに、注射針などの感染性廃棄物の適切な収集運搬・処分を行います。万博の会場内に設置される8か所の医療救護施設の衛生管理を支援することで、来場者の皆様が安心して万博を楽しめる環境づくりに貢献していきます。



▲収集運搬車両と医療廃棄物専用の金属缶



©Expo2025

筑波大学芸術系が主催するユニバーサルな展覧会を後援

筑波大学芸術系宮坂研究室が主催・共催する展覧会を共同研究活動の一環として後援しました。作品には、素材として当社の鉄筋も使われました。出展作品は全て触れることができ、視覚のみならず触覚でも楽しむことができる展覧会となりました。



▲展覧会会場



▲盲学校の子どもの作品

CDP調査2分野で「A-」取得

CDP調査において、気候変動分野は3年連続3回目、水セキュリティ分野は初めて、リーダーシップレベルである「A-（マイナス）」評価を取得しました。製造過程で利用する水のリスク低減とともに、地域環境や住民の皆様、さらに生態系への影響に配慮し、水資源のリサイクルを推進することで「排水ゼロ」を目指した活動が評価されたものと認識しています。次回の評価でも同様の評価が得られるよう、取り組みを推進していきます。



作業服を全面リニューアル！

現行の作業服の機能性向上やデザインの刷新を求める従業員の声を受け、2025年4月より作業服を全面リニューアルしました。伸縮加工や防シワ加工を施した高機能素材を採用したほか、新立体裁断構造を導入し、動きやすさや快適性を大幅に向上させました。今後もいきいきと働ける魅力ある職場づくりに取り組んでいきます。



連結貸借対照表(要旨)

科目	前期末	当期末
	2024年3月31日現在	2025年3月31日現在
資産の部		
流動資産	220,891	211,297
固定資産	133,326	141,531
有形固定資産	101,448	109,738
無形固定資産	3,773	3,081
投資その他の資産	28,106	28,712
資産合計	354,217	352,828

連結損益計算書(要旨)

科目	前期	当期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	320,982	322,849
売上原価	279,012	284,523
売上総利益	41,969	38,327
販売費及び一般管理費	20,915	22,994
営業利益	21,055	15,332
営業外収益	3,962	3,231
営業外費用	3,983	2,819
経常利益	21,034	15,745
特別利益	1,030	3,524
特別損失	6,748	2,989
税金等調整前当期純利益	15,316	16,280
法人税、住民税及び事業税	7,975	5,750
法人税等調整額	△2,313	△94
当期純利益	9,653	10,624
非支配株主に帰属する当期純損失	△4,172	△167
親会社株主に帰属する当期純利益	13,826	10,791

(単位:百万円)

科目	前期末	当期末
	2024年3月31日現在	2025年3月31日現在
負債の部		
流動負債	107,925	103,259
固定負債	44,862	40,411
負債合計	152,787	143,671
純資産の部		
株主資本	172,300	178,479
その他の包括利益累計額	22,340	24,509
非支配株主持分	6,790	6,169
純資産合計	201,430	209,157
負債・純資産合計	354,217	352,828

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	前期	当期
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	24,290	39,408
投資活動による キャッシュ・フロー	△17,048	△9,882
財務活動による キャッシュ・フロー	△14,173	△18,224
現金及び現金同等物に係る 換算差額	604	657
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△6,327	11,959
現金及び現金同等物の 期首残高	32,421	26,094
現金及び現金同等物の 期末残高	26,094	38,052

(単位:百万円)

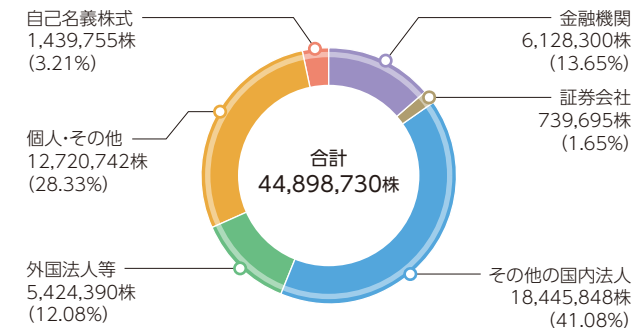
株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,300,000株
発行済株式総数	44,898,730株
株主数	33,894名
大株主	

株主名	持株数	持株比率 ^{※1} _{※2}
日本製鉄株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,392,300	5.50
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	1,308,900	3.01
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター防炎株式会社退職給付信託口)	692,000	1.59
エア・ウォーター株式会社	691,500	1.59
共英グループ従業員持株会	665,817	1.53

※1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。
※2 持株比率は、自己株式(1,439,755株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況 (2025年3月31日現在)



会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設立	1947 (昭和22) 年8月21日
資本金	185億16百万円
従業員数	3,903名 (連結:正社員)
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・ 処分業および自動車リサイクル事業ならび に廃棄物再生資源化事業 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事
関係会社	共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) (株)吉年 ビナ・キョウエイ・スチール社 キョウエイ・スチール・ベトナム社 ベトナム・イタリー・スチール社 チャー・バイ・インターナショナル・ポート社 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社 ピントン・スチール社 アルタ・スチール社 中山鋼業(株) 他

役員 (2025年6月25日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	常務執行役員	国丸 洋
代表取締役社長	坂本 尚吾	常務執行役員	川井 健司
取締役・副社長執行役員	菅 哲哉	常務執行役員	横山 政美
取締役・常務執行役員	北田 正宏	上席執行役員	橋本 公宣
取締役相談役	廣富 靖以	上席執行役員	川上 浩生
取締役(社外)	山尾 哲也	上席執行役員	松本 哲哉
取締役(社外)	川邊 辰也	上席執行役員	西村 周
取締役(社外)	船戸 貴美子	上席執行役員	林 進
取締役(社外)	松家 優香子	上席執行役員	岩佐 博之
常勤監査役	前田 豊治	上席執行役員	藤岡 進一
監査役(社外)	介川 康弘	上席執行役員	上道 雅丈
監査役(社外)	宗岡 徹	執行役員	中谷 進亮
監査役(社外)	竹内 洋平	執行役員	米村 泰宏
		執行役員	沢村 真人
		執行役員	増田 晶紀
		執行役員	丸山 静一
		執行役員	大北 剛
		執行役員	福西 英和
		顧問(ファウンダー)名誉会長	高島 成光

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当	3月31日
中間配当を行う場合	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031（土日休日を除く9:00～17:00）
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	5440

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

当社は、長期にわたり当社株式を保有いただいている株主の皆様のご支援に感謝するとともに、今後もより多くの方々の中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を設けております。

「継続保有期間1年」の認定については、毎年3月31日を基準日として、当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して100株以上の保有株式数が記載された株主様を対象とします。

保有株式数および継続保有期間に応じ、QUOカードをお贈りいたします。



保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分

株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにて
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは
株式会社デンソーウェーブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

IRメール配信
サービス
を実施しています。



最新のIRニュースや適時開示情報等を、
ご登録のメールアドレスにお送りいたします。
以下のURLよりご登録手続きください。

<https://www.kyoeisteel.co.jp/ja/ir/mail.html>

共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階
TEL 06 (6346) 5221 (代表) URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

